

# I 平成28年鉱工業指数の動向

# 1 概況

平成28年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成22年を100.0とした年平均で見ると、

生産指数は95.5となり、対前年比で5.2%の低下となった。  
 生産者出荷指数は71.9となり、対前年比で20.7%の低下となった。  
 生産者製品在庫指数は73.1となり、対前年比で24.0%の低下となった。

本県鉱工業の推移をみると、生産指数は平成27年から2年連続して低下となった。出荷指数は平成24年から5年連続して低下となった。在庫指数は平成25年以降3年ぶりに低下した。

生産指数は、窯業・土石製品工業、化学・石油製品工業、金属製品工業などの低下により、対前年比5.2%の低下となった。

出荷指数は、化学・石油製品工業、窯業・土石製品工業、金属製品工業などの低下により、対前年比20.7%の低下となった。

在庫指数は、化学・石油製品工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業などの低下により、対前年比24.0%の低下となった。

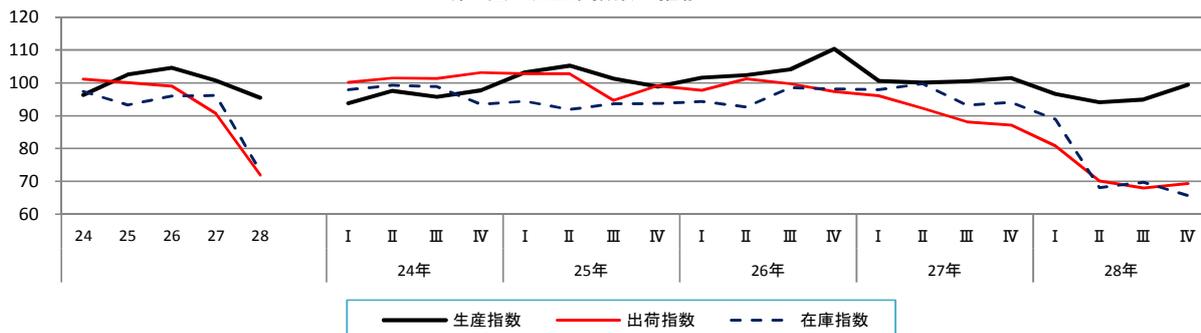
第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%) 平成22年=100.0

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
生産指数	96.3	102.5	104.6	100.7	95.5
前年比(%)	▲ 0.5	6.4	2.0	▲ 3.7	▲ 5.2
出荷指数	101.1	100.1	99.0	90.7	71.9
前年比(%)	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 8.4	▲ 20.7
在庫指数	97.4	93.3	96.0	96.2	73.1
前年比(%)	▲ 0.4	▲ 4.2	2.9	0.2	▲ 24.0

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%) 平成22年=100.0

	平成27年				平成28年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
生産指数	100.6	100.1	100.5	101.5	96.6	94.1	94.9	99.5
前期比(%)	▲ 8.9	▲ 0.5	0.4	1.0	▲ 4.8	▲ 2.6	0.9	4.8
出荷指数	96.1	92.2	88.1	87.2	80.8	70.1	68.0	69.3
前期比(%)	▲ 1.3	▲ 4.1	▲ 4.4	▲ 1.0	▲ 7.3	▲ 13.2	▲ 3.0	1.9
在庫指数	97.9	99.7	93.2	94.1	88.9	68.1	69.7	65.6
前期比(%)	▲ 0.3	1.8	▲ 6.5	1.0	▲ 5.5	▲ 23.4	2.3	▲ 5.9

第1図 鉱工業指数の推移



※年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(指数水準95.5、対前年比5.2%減)

低下した業種は、窯業・土石製品工業、化学・石油製品工業、金属製品工業などの6業種であった。  
 上昇した業種は、その他の工業、プラスチック製品工業の2業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準96.6、対前期比4.8%減)

低下した業種は、その他の工業(対前期比17.8%減)などの8業種であった。  
 上昇した業種は、金属製品工業(対前期比0.1%増)の1業種であった。

II期(指数水準94.1、対前期比2.6%減)

低下した業種は、その他の工業(対前期比14.8%減)などの4業種であった。  
 上昇した業種は、食料品工業(対前期比7.7%増)などの5業種であった。

III期(指数水準94.9、対前期比0.9%増)

上昇した業種は、金属製品工業(対前期比8.0%増)などの5業種であった。  
 低下した業種は、食料品工業(対前期比2.8%減)などの4業種であった。

IV期(指数水準99.5、対前期比4.8%増)

上昇した業種は、その他の工業(対前期比27.0%増)などの7業種であった。  
 低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比14.6%減)などの2業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					27年	28年				原指数		28年 季節調整済指数			
		26年	27年	28年	IV期	I期	II期	III期	IV期	27年	28年	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	10000.0	104.6	100.7	95.5	101.5	96.6	94.1	94.9	99.5	▲ 3.7	▲ 5.2	▲ 4.8	▲ 2.6	0.9	4.8
鉄鋼業	386.1	118.1	106.0	95.8	105.5	92.2	92.0	97.7	101.0	▲ 10.2	▲ 9.6	▲ 12.6	▲ 0.2	6.2	3.4
金属製品工業	1231.3	116.9	113.6	105.5	103.3	103.4	95.9	103.6	120.8	▲ 2.8	▲ 7.1	0.1	▲ 7.3	8.0	16.6
窯業・土石製品工業	1806.7	108.7	103.6	91.2	99.0	88.9	93.5	90.6	92.7	▲ 4.7	▲ 12.0	▲ 10.2	5.2	▲ 3.1	2.3
化学・石油製品工業	962.2	92.9	57.7	39.9	41.7	37.1	42.3	45.2	38.6	▲ 37.9	▲ 30.8	▲ 11.0	14.0	6.9	▲ 14.6
プラスチック製品工業	174.5	118.2	145.6	150.6	158.2	153.1	154.0	143.9	159.0	23.2	3.4	▲ 3.2	0.6	▲ 6.6	10.5
パルプ・紙・紙加工品工業	164.0	95.6	99.7	97.1	103.6	98.3	94.6	97.7	98.5	4.3	▲ 2.6	▲ 5.1	▲ 3.8	3.3	0.8
食料品工業	4255.3	90.1	89.7	89.7	92.6	87.4	94.1	91.5	91.8	▲ 0.4	0.0	▲ 5.6	7.7	▲ 2.8	0.3
その他の工業	849.0	154.3	163.5	168.6	210.4	172.9	147.3	147.9	187.8	6.0	3.1	▲ 17.8	▲ 14.8	0.4	27.0
鉱業	170.9	117.0	121.5	107.7	122.0	109.0	113.1	103.1	102.2	3.8	▲ 11.4	▲ 10.7	3.8	▲ 8.8	▲ 0.9
産業総合(参考)	12444.3	103.7	100.6	95.5	101.6	96.9	94.3	94.6	98.3	▲ 3.0	▲ 5.1	▲ 4.6	▲ 2.7	0.3	3.9

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(2) 出荷

出荷指数(指数水準71.9、対前年比20.7%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業、窯業・土石製品工業、金属製品工業などの7業種であった。  
 上昇した業種は、その他の工業、プラスチック製品工業の2業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I 期(指数水準80.8、対前期比7.3%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比31.3%減)などの8業種であった。  
 上昇した業種は、プラスチック製品工業(対前期比5.3%増)などの1業種であった。

II 期(指数水準70.1、対前期比13.2%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比78.7%減)などの6業種であった。  
 上昇した業種は、食料品工業(対前期比2.6%増)などの3業種であった。

III 期(指数水準68、対前期比3.0%減)

低下した業種は、食料品工業(対前期比2.3%減)などの4業種であった。  
 上昇した業種は、金属製品工業(対前期比7.5%増)などの5業種であった。

IV 期(指数水準69.3、対前期比1.9%増)

上昇した業種は、その他の工業(対前期比24.4%増)などの6業種であった。  
 低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比19.0%減)などの3業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					27年	28年				原指数		H28年 季節調整済指数				
		26年	27年	28年	IV期	I 期	II 期	III 期	IV 期	27年	28年	I 期	II 期	III 期	IV 期	
鉱工業	10000.0	99.0	90.7	71.9	87.2	80.8	70.1	68.0	69.3	▲ 8.4	▲ 20.7	▲ 7.3	▲ 13.2	▲ 3.0	1.9	
鉄鋼業	347.1	116.8	107.0	102.4	107.4	97.1	105.5	103.2	105.5	▲ 8.4	▲ 4.3	▲ 9.6	8.7	▲ 2.2	2.2	
金属製品工業	764.3	120.1	117.1	105.6	107.9	105.9	96.6	103.8	117.8	▲ 2.5	▲ 9.8	▲ 1.9	▲ 8.8	7.5	13.5	
窯業・土石製品工業	1171.7	109.2	106.3	93.3	101.2	89.7	95.0	93.3	94.5	▲ 2.7	▲ 12.2	▲ 11.4	5.9	▲ 1.8	1.3	
化学・石油製品工業	3350.2	88.8	64.0	15.7	52.0	35.7	7.6	5.8	4.7	▲ 27.9	▲ 75.5	▲ 31.3	▲ 78.7	▲ 23.7	▲ 19.0	
プラスチック製品工業	114.8	116.1	136.3	141.7	138.7	146.0	140.0	140.4	145.4	17.4	4.0	5.3	▲ 4.1	0.3	3.6	
パルプ・紙・紙加工品工業	111.3	97.1	102.2	98.1	105.7	98.0	96.6	98.5	99.0	5.3	▲ 4.0	▲ 7.3	▲ 1.4	2.0	0.5	
食料品工業	3617.1	91.4	92.3	91.5	92.9	91.8	94.2	92.0	91.1	1.0	▲ 0.9	▲ 1.2	2.6	▲ 2.3	▲ 1.0	
その他の工業	442.8	155.1	163.6	170.1	209.7	178.9	146.7	148.5	184.8	5.5	4.0	▲ 14.7	▲ 18.0	1.2	24.4	
鉱業	80.7	104.6	104.9	91.9	103.2	96.3	89.2	94.6	88.3	0.3	▲ 12.4	▲ 6.7	▲ 7.4	6.1	▲ 6.7	
産業総合(参考)	12830.6	99.3	93.2	79.4	90.5	85.3	78.2	77.7	77.8	▲ 6.1	▲ 14.8	▲ 5.7	▲ 8.3	▲ 0.6	0.1	

注1) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2) 産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(3)在庫

在庫指数(指数水準73.1、対前年比24.0%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業などの5業種であった。

上昇した業種は、鉱業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの4業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準88.9、対前期比5.5%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比25.6%減)などの4業種であった。

上昇した業種は、鉄鋼業(対前期比4.1%増)などの5業種であった。

II期(指数水準68.1、対前期比23.4%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比80.9%減)などの5業種であった。

上昇した業種は、プラスチック製品工業(対前期比17.9%増)などの4業種であった。

III期(指数水準69.7、対前期比2.3%増)

上昇した業種は、化学・石油製品工業(対前期比12.4%増)などの5業種であった。

低下した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比5.6%減)などの4業種であった。

IV期(指数水準65.6、対前期比5.9%減)

低下した業種は、化学・石油製品工業(対前期比21.4%減)などの3業種であった。

上昇した業種は、食料品工業(対前期比0.8%増)などの6業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成22年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					27年	28年					原指数		28年 季節調整済指数			
		26年	27年	28年	IV期	I期	II期	III期	IV期	27年	28年	I期	II期	III期	IV期	
鉱工業	10000.0	96.0	96.2	73.1	94.1	88.9	68.1	69.7	65.6	0.2	▲24.0	▲5.5	▲23.4	2.3	▲5.9	
鉄鋼業	569.9	109.8	119.1	98.7	115.7	120.4	96.2	91.4	86.3	8.5	▲17.1	4.1	▲20.1	▲5.0	▲5.6	
金属製品工業	565.4	7.7	7.7	9.3	5.9	7.9	9.4	8.6	10.7	0.0	20.8	33.9	19.0	▲8.5	24.4	
窯業・土石製品工業	1220.0	109.9	102.1	93.3	99.0	96.0	95.6	90.2	91.3	▲7.1	▲8.6	▲3.0	▲0.4	▲5.6	1.2	
化学・石油製品工業	3196.5	99.5	97.9	29.6	96.3	71.6	13.7	15.4	12.1	▲1.6	▲69.8	▲25.6	▲80.9	12.4	▲21.4	
プラスチック製品工業	131.8	139.2	175.0	206.7	181.9	187.4	221.0	208.1	212.0	25.7	18.1	3.0	17.9	▲5.8	1.9	
パルプ・紙・紙加工品工業	92.3	97.6	93.5	105.9	89.7	92.2	101.9	109.7	120.1	▲4.2	13.3	2.8	10.5	7.7	9.5	
食料品工業	3471.7	96.3	95.9	95.8	95.8	95.6	95.2	95.9	96.7	▲0.4	▲0.1	▲0.2	▲0.4	0.7	0.8	
その他の工業	249.7	103.1	97.7	70.3	96.5	73.4	66.9	72.5	67.2	▲5.2	▲28.0	▲23.9	▲8.9	8.4	▲7.3	
鉱業	502.7	106.6	125.0	146.2	133.8	139.1	146.0	149.3	150.6	17.3	17.0	4.0	5.0	2.3	0.9	
産業総合(参考)	10000.0	96.0	96.2	73.1	94.1	88.9	68.1	69.7	65.6	0.2	▲24.0	▲5.5	▲23.4	2.3	▲5.9	

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

## 2 業種別の動向

### (1) 鉄鋼業

生産指数(指数水準95.8、対前年比9.6%減)

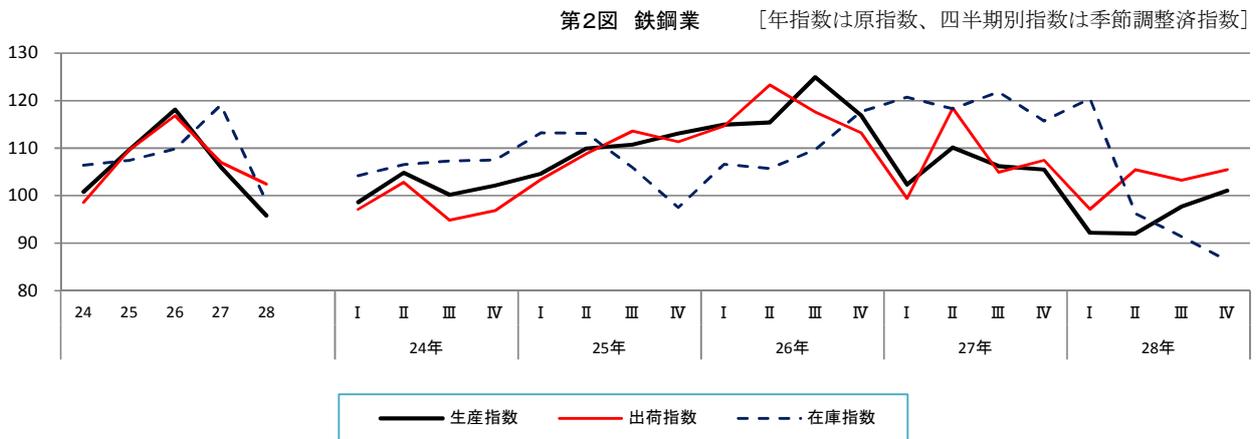
生産が低下した品目は、鉄蓋、鉄線、小形棒鋼などであった。

出荷指数(指数水準102.4、対前年比4.3%減)

出荷が低下した品目は、鉄線、軽量形鋼、小形棒鋼などであった。

在庫指数(指数水準98.7、対前年比17.1%減)

在庫が低下した品目は、小形棒鋼、めっき鋼管、軽量形鋼などであった。



### (2) 金属製品工業

生産指数(指数水準105.5、対前年比7.1%減)

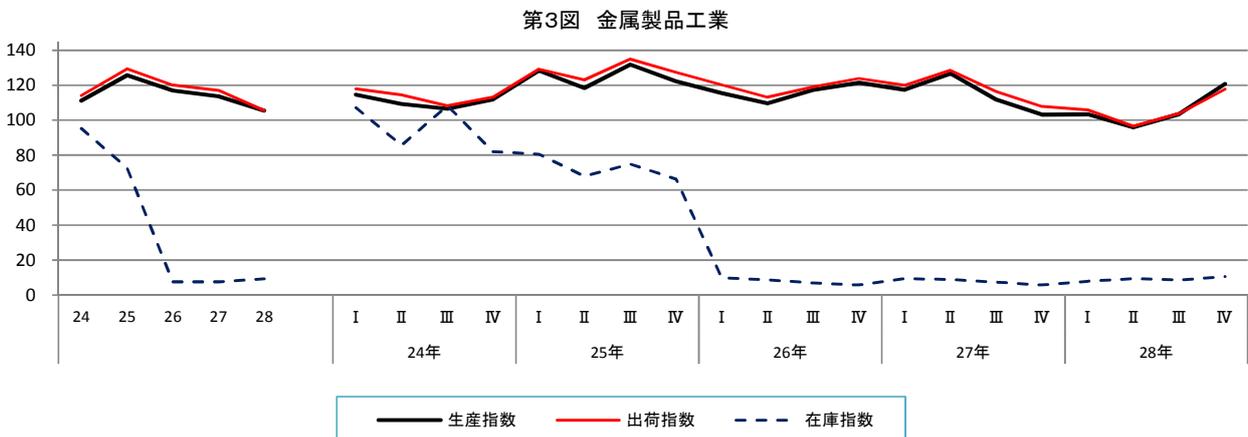
生産が低下した品目は、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）、鉄骨、鉄くぎであった。

出荷指数(指数水準105.6、対前年比9.8%減)

出荷が低下した品目は、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）、鉄骨、鉄くぎなどであった。

在庫指数(指数水準9.3、対前年比20.8%増)

在庫が上昇した品目は、金網、金属製建具（サッシ・シャッター・ドア）であった。



### (3) 窯業・土石製品工業

生産指数(指数水準91.2、対前年比12.0%減)

生産が低下した品目は、生コンクリート、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、ポルトランドセメント(普通)などであった。

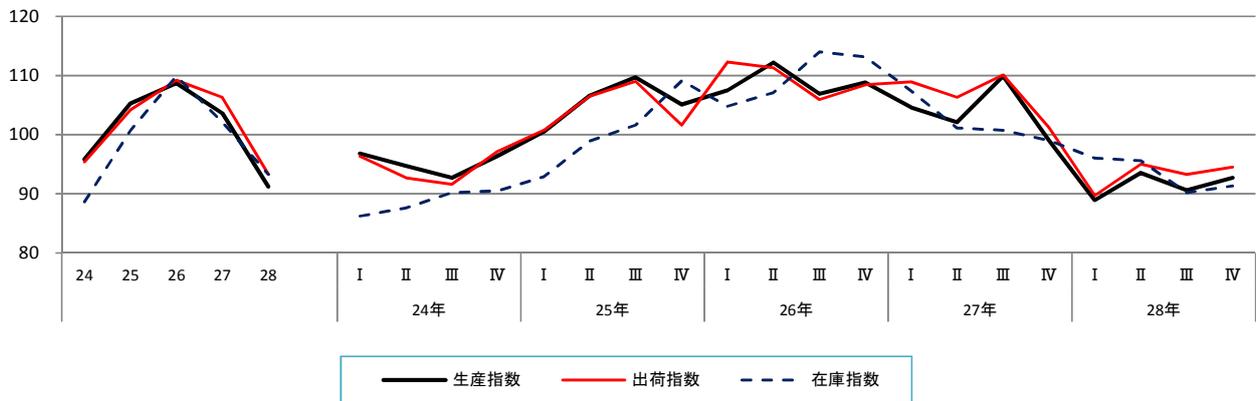
出荷指数(指数水準93.3、対前年比12.2%減)

出荷が低下した品目は、生コンクリート、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、道路用コンクリート製品などであった。

在庫指数(指数水準93.3、対前年比8.6%減)

在庫が低下した品目は、道路用コンクリート製品、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、遠心力鉄筋コンクリートポールなどであった。

第4図 窯業・土石製品工業



### (4) 化学・石油製品工業

生産指数(指数水準39.9、対前年比30.8%減)

生産が低下した品目は、ガソリン、C重油、軽油などであった。

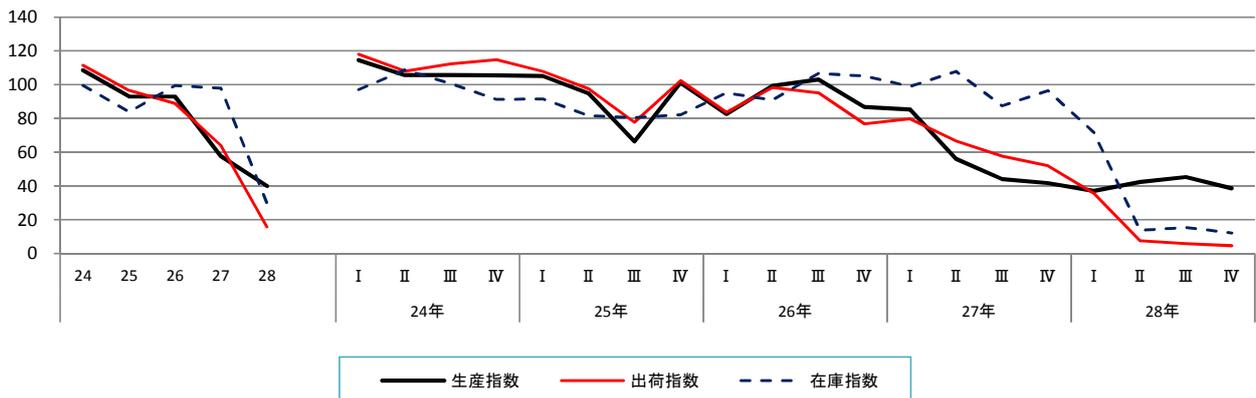
出荷指数(指数水準15.7、対前年比75.5%減)

出荷が低下した品目は、ガソリン、C重油、軽油などであった。

在庫指数(指数水準29.6、対前年比69.8%減)

在庫が低下した品目は、ガソリン、軽油、C重油などであった。

第5図 化学・石油製品工業



## (5) プラスチック製品工業

生産指数(指数水準150.6、対前年比3.4%増)

生産が上昇した品目は、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器（中空成形）であった。

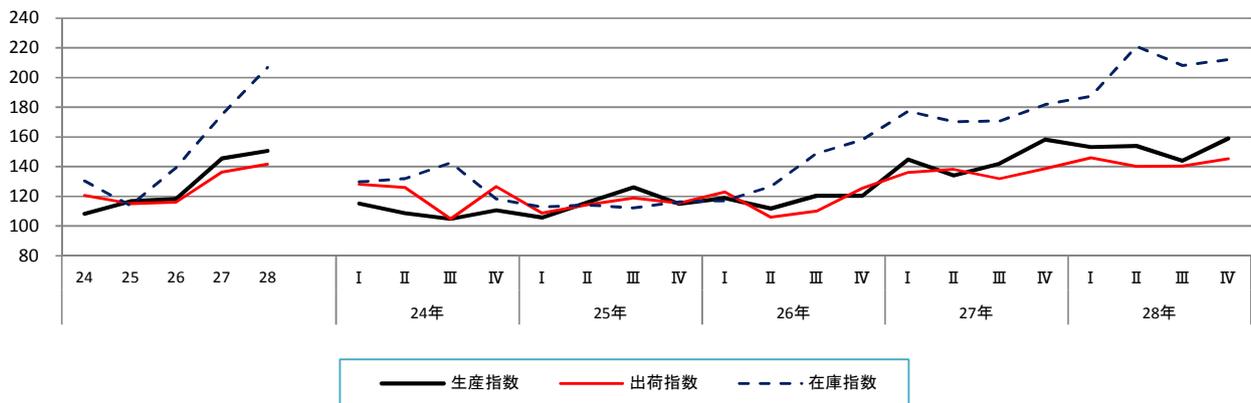
出荷指数(指数水準141.7、対前年比4.0%増)

出荷が上昇した品目は、プラスチック製容器（中空成形）、プラスチック製フィルム・シートであった。

在庫指数(指数水準206.7、対前年比18.1%増)

在庫が上昇した品目は、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器（中空成形）であった。

第6図 プラスチック製品工業



## (6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数(指数水準97.1、対前年比2.6%減)

生産が低下した品目は、段ボール、タオル用紙、ちり紙であった。

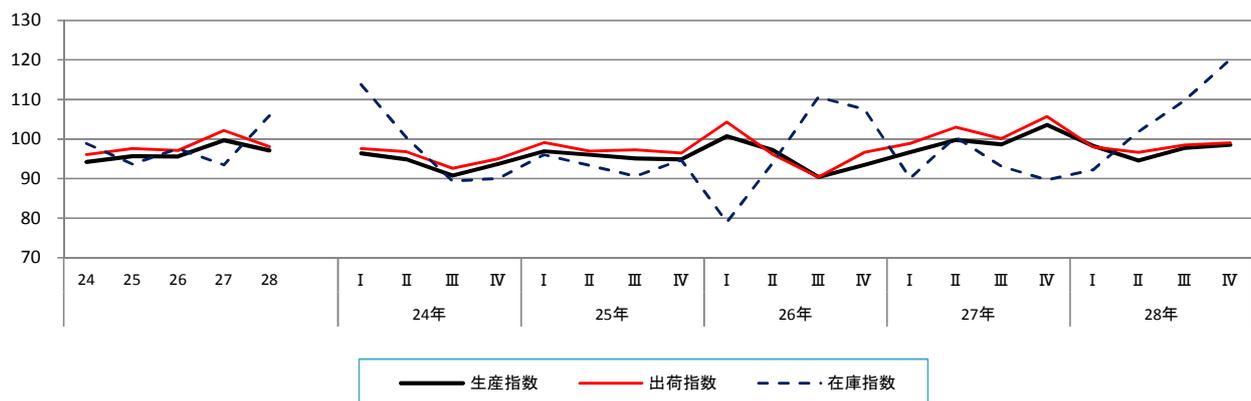
出荷指数(指数水準98.1、対前年比4.0%減)

出荷が低下した品目は、段ボール、トイレットペーパー、タオル用紙などであった。

在庫指数(指数水準105.9、対前年比13.3%増)

在庫が上昇した品目は、トイレットペーパー、ちり紙、段ボールなどであった。

第7図 パルプ・紙・紙加工品工業



## (7) 食料品工業

生産指数(指数水準89.7、対前年比0.0%)

生産が上昇した品目は、あわもり、豚枝肉、ビールなどであった。

生産が低下した品目は、その他の発泡性酒類、牛乳、清涼飲料・嗜好飲料などであった。

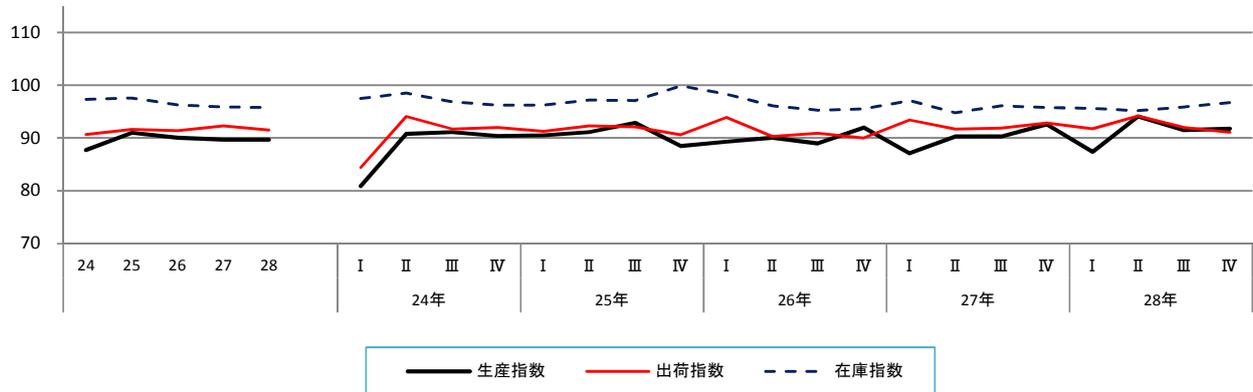
出荷指数(指数水準91.5、対前年比0.9%減)

出荷が低下した品目は、精米、あわもり、その他の発泡性酒類などであった。

在庫指数(指数水準95.8、対前年比0.1%減)

在庫が低下した品目は、清涼飲料・嗜好飲料、ビール、肉缶詰などであった。

第8図 食料品工業



## (8) その他の工業

生産指数(指数水準168.6、対前年比3.1%増)

生産が上昇した品目は、織物製外衣であった。

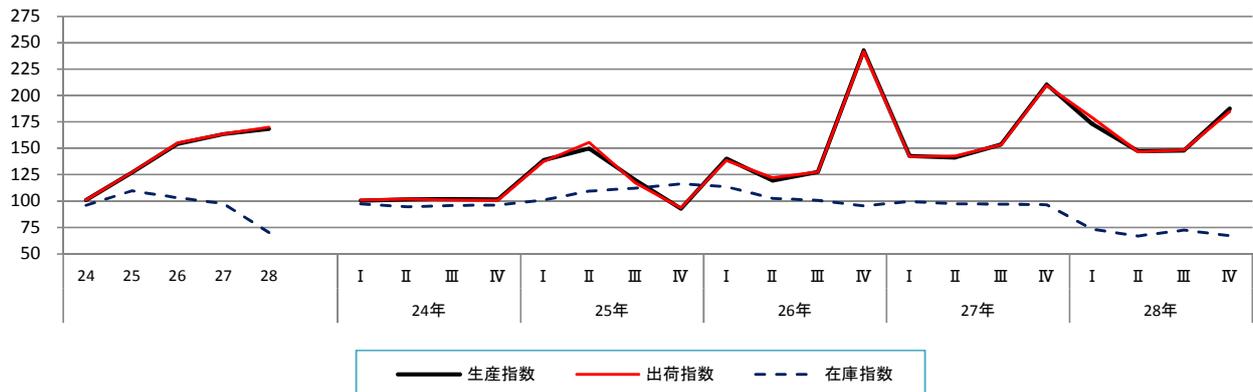
出荷指数(指数水準170.1、対前年比4.0%増)

出荷が上昇した品目は、織物製外衣であった。

在庫指数(指数水準70.3、対前年比28.0%減)

在庫が低下した品目は、織物製外衣、綿織物であった。

第9図 その他の工業



## (9) 鉱業

生産指数(指数水準107.7、対前年比11.4%減)

生産が低下した品目は、石灰石、軟けい石であった。

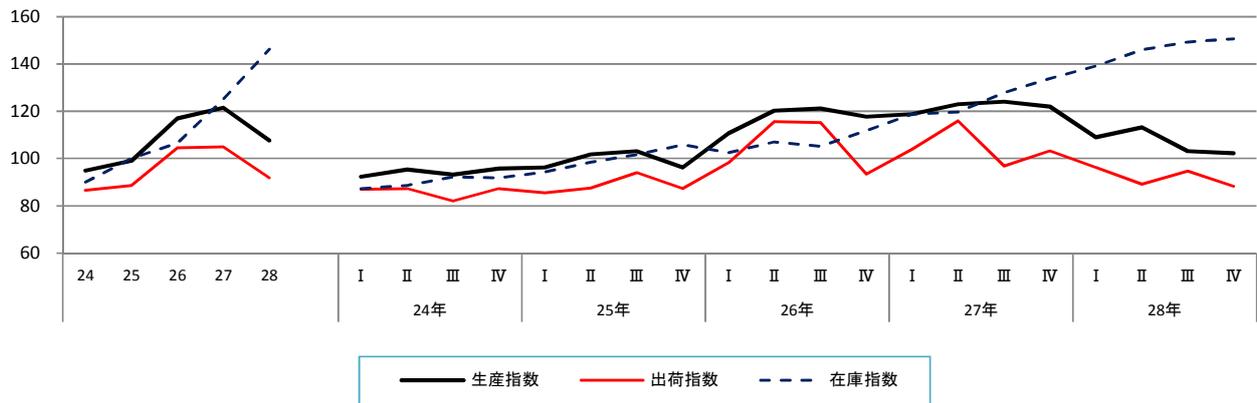
出荷指数(指数水準91.9、対前年比12.4%減)

出荷が低下した品目は、石灰石、軟けい石であった。

在庫指数(指数水準146.2、対前年比17.0%増)

在庫が上昇した品目は、石灰石であった。

第10図 鉱業



### 3 財別の動向

#### (1) 生産

生産の動向を財別にみると、

最終需要財は94.6となり、対前年比で4.9%の低下となった。  
生産財は97.9となり、対前年比で5.3%の低下となった。

最終需要財の投資財は98.0(対前年比9.6%減)、消費財は91.5(対前年比0.1%減)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は78.8(対前年比5.1%減)、その他用生産財は117.9(対前年比5.4%減)となった。

#### (2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

最終需要財は85.8となり、対前年比で13.6%の低下となった。  
生産財は50.8となり、対前年比で34.5%の低下となった。

最終需要財の投資財は100.1(対前年比9.8%減)、消費財は77.3(対前年比16.4%減)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は60.8(対前年比20.5%減)、その他用生産財は46.0(対前年比41.1%減)となった。

#### (3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

最終需要財は81.9となり、対前年比で16.6%の低下となった。  
生産財は54.8となり、対前年比で40.4%の低下となった。

最終需要財の投資財は75.0(対前年比10.7%減)、消費財は85.6(対前年比19.1%減)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は99.8(対前年比1.9%減)、その他用生産財は33.0(対前年比62.2%減)となった。

第6表 財別生産指数

平成22年=100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		24年	25年	26年	27年	28年	24年	25年	26年	27年	28年
鉱工業	10000.0	96.3	102.5	104.6	100.7	95.5	▲ 0.5	6.4	2.0	▲ 3.7	▲ 5.2
最終需要財	7075.0	98.8	104.0	103.2	99.5	94.6	1.6	5.3	▲ 0.8	▲ 3.6	▲ 4.9
投資財	3336.4	102.3	114.1	113.7	108.4	98.0	4.5	11.5	▲ 0.4	▲ 4.7	▲ 9.6
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	3336.4	102.3	114.1	113.7	108.4	98.0	4.5	11.5	▲ 0.4	▲ 4.7	▲ 9.6
消費財	3738.6	95.6	95.0	93.8	91.6	91.5	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 2.3	▲ 0.1
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3738.6	95.6	95.0	93.8	91.6	91.5	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 1.3	▲ 2.3	▲ 0.1
生産財	2925.0	90.3	98.7	107.9	103.4	97.9	▲ 5.7	9.3	9.3	▲ 4.2	▲ 5.3
鉱工業用生産財	1492.7	75.4	83.6	86.5	83.0	78.8	▲ 14.2	10.9	3.5	▲ 4.0	▲ 5.1
その他用生産財	1432.3	105.8	114.5	130.3	124.6	117.9	1.5	8.2	13.8	▲ 4.4	▲ 5.4

第7表 財別出荷指数

平成22年=100.0

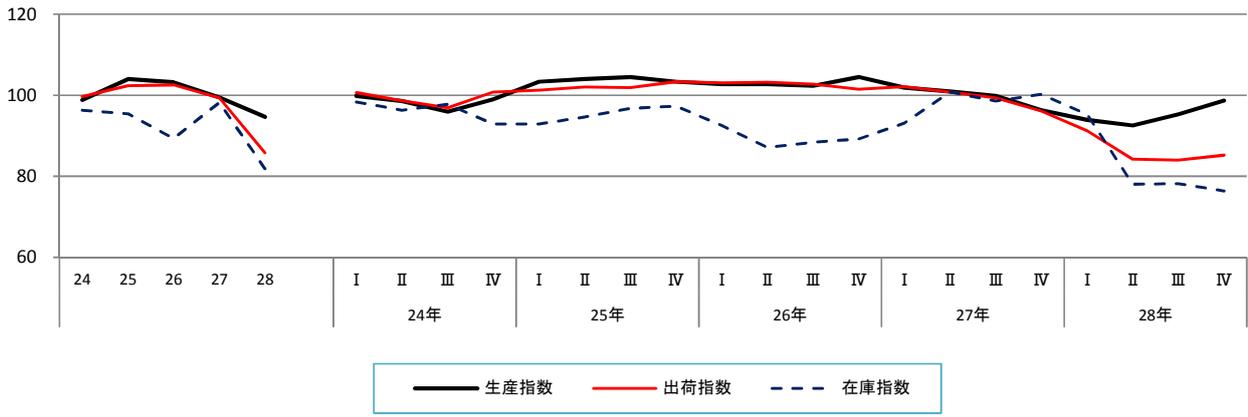
	ウェイト	出荷指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		24年	25年	26年	27年	28年	24年	25年	26年	27年	28年
鉱工業	10000.0	101.1	100.1	99.0	90.7	71.9	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 8.4	▲ 20.7
最終需要財	6042.7	99.6	102.3	102.5	99.3	85.8	▲ 1.0	2.7	0.2	▲ 3.1	▲ 13.6
投資財	2236.2	102.9	114.6	114.9	111.0	100.1	3.0	11.4	0.3	▲ 3.4	▲ 9.8
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2236.2	102.9	114.6	114.9	111.0	100.1	3.0	11.4	0.3	▲ 3.4	▲ 9.8
消費財	3806.5	97.6	95.1	95.3	92.5	77.3	▲ 3.5	▲ 2.6	0.2	▲ 2.9	▲ 16.4
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3806.5	97.6	95.1	95.3	92.5	77.3	▲ 3.5	▲ 2.6	0.2	▲ 2.9	▲ 16.4
生産財	3957.3	103.4	96.8	93.4	77.6	50.8	0.3	▲ 6.4	▲ 3.5	▲ 16.9	▲ 34.5
鉱工業用生産財	1264.6	89.4	85.7	84.9	76.5	60.8	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 0.9	▲ 9.9	▲ 20.5
その他用生産財	2692.7	110.0	102.0	97.5	78.1	46.0	4.8	▲ 7.3	▲ 4.4	▲ 19.9	▲ 41.1

第8表 財別在庫指数

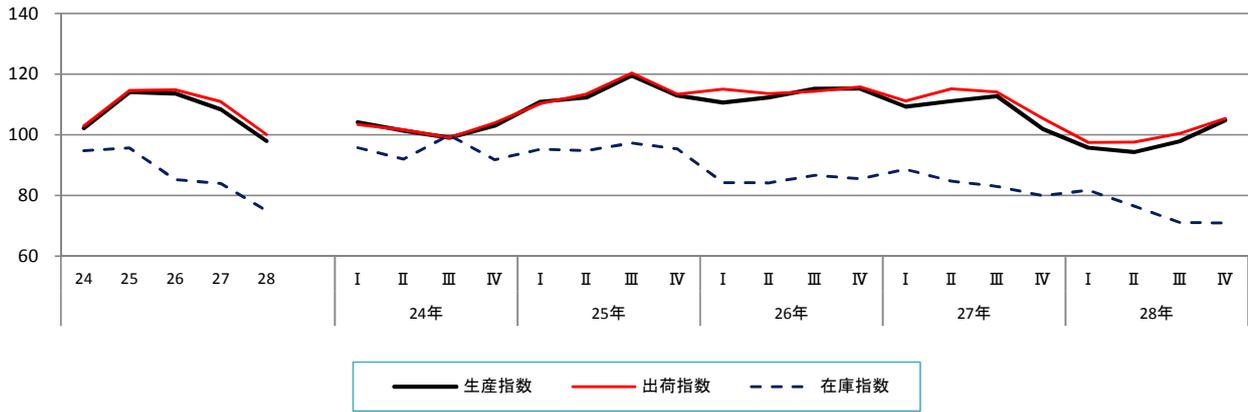
平成22年=100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		24年	25年	26年	27年	28年	24年	25年	26年	27年	28年
鉱工業	10000.0	97.4	93.3	96.0	96.2	73.1	▲ 0.4	▲ 4.2	2.9	0.2	▲ 24.0
最終需要財	6740.5	96.3	95.4	89.3	98.2	81.9	▲ 2.6	▲ 0.9	▲ 6.4	10.0	▲ 16.6
投資財	2340.3	94.8	95.7	85.2	84.0	75.0	▲ 2.6	0.9	▲ 11.0	▲ 1.4	▲ 10.7
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2340.3	94.8	95.7	85.2	84.0	75.0	▲ 2.6	0.9	▲ 11.0	▲ 1.4	▲ 10.7
消費財	4400.2	97.1	95.2	91.5	105.8	85.6	▲ 2.6	▲ 2.0	▲ 3.9	15.6	▲ 19.1
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	4400.2	97.1	95.2	91.5	105.8	85.6	▲ 2.6	▲ 2.0	▲ 3.9	15.6	▲ 19.1
生産財	3259.5	99.7	89.2	109.8	92.0	54.8	4.3	▲ 10.5	23.1	▲ 16.2	▲ 40.4
鉱工業用生産財	1062.1	98.9	99.7	122.2	101.7	99.8	▲ 0.2	0.8	22.6	▲ 16.8	▲ 1.9
その他用生産財	2197.4	100.0	84.0	103.8	87.3	33.0	6.4	▲ 16.0	23.6	▲ 15.9	▲ 62.2

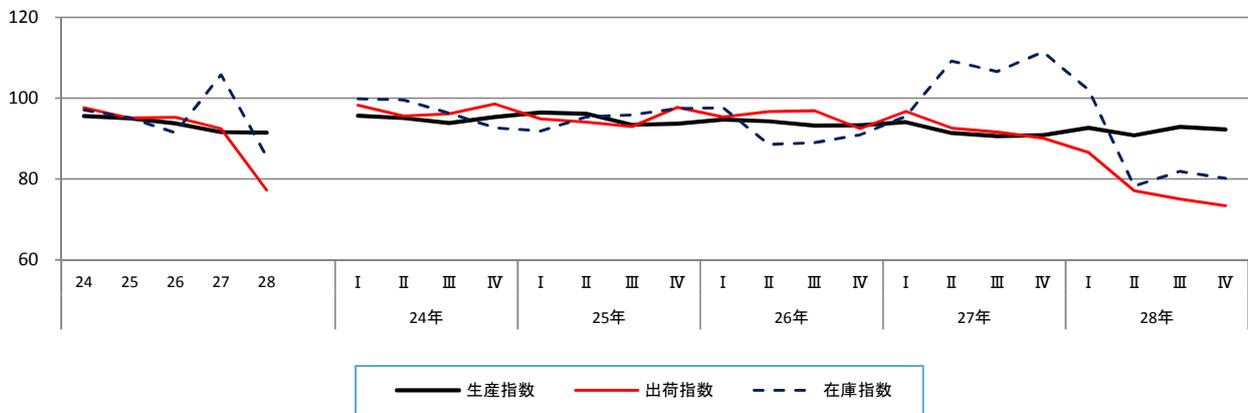
第11図 最終需要財



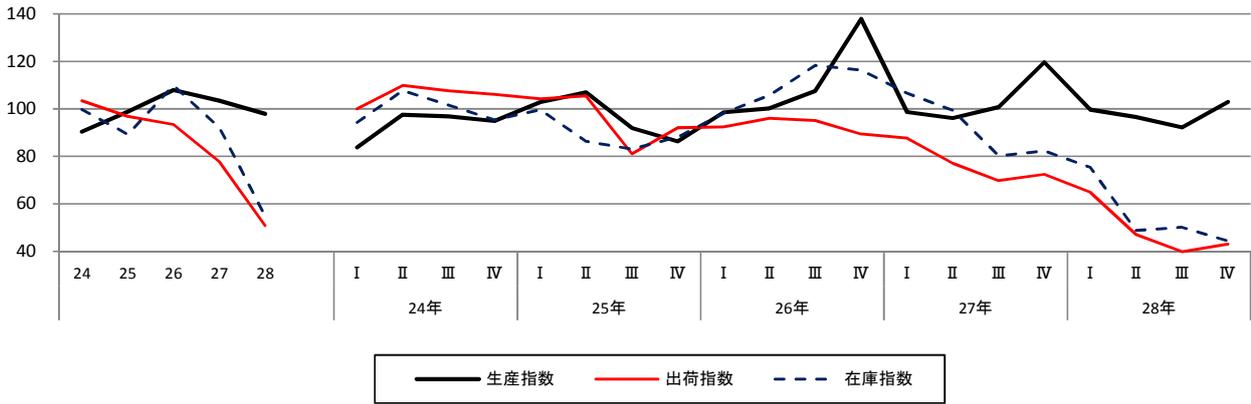
第12図 建設財



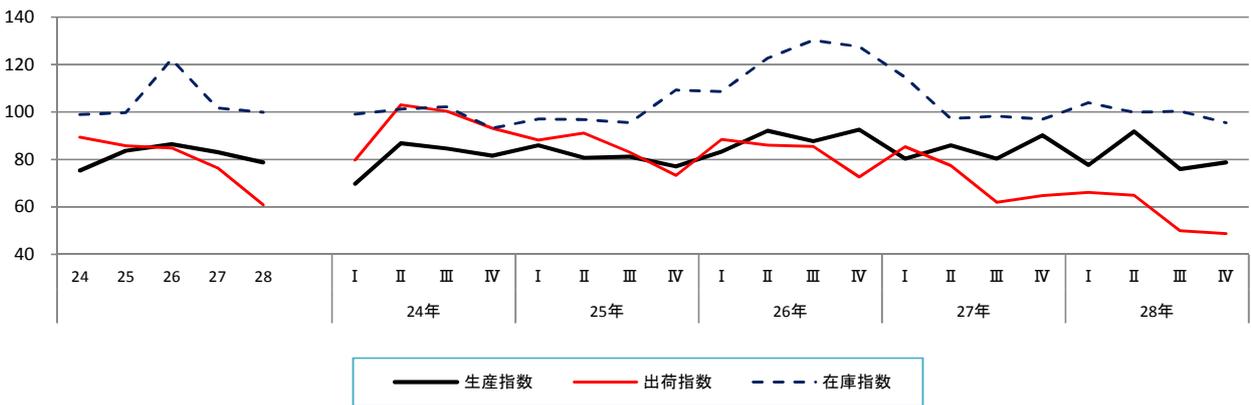
第13図 非耐久消費財



第14図 生産財



第15図 鉱工業用生産財



第16図 その他用生産財

